

行き先は、 未来の 漁場だ。

経験不問。定置網漁師、求ム。

目の前には宝の海がある。でも、魚を獲る人がいない。漁師の跡継ぎ不足に悩むこの地域がある。でも、定置網漁の復活です。ひとり乗りの漁船は、技術の習得が難しい。でも定置網漁なら、新しく漁師を始めるハードルはうんと下がる。地元漁業への危機感が、このプロジェクトの立ち上げにつながったのです。

地元の想いを、この網に込めよう。

最初に集まったのは地元の数名の漁師。網も船も何もないところからのスタートでした。定置網漁には最初に膨大な投資が必要になる。そこで株式会社化して、行政などのサポートを受ける体制をつくり、ついにプロジェクトは船出します。そして、その背中を押したの、昔を知る地元の人々からの大きな期待でした。

宮崎の海は広い。挑戦はこれからだ。

いまでは、他県から移住してきた新規就業者が仲間に加わり、県内からの注目は日増しに高まっているといいます。宮崎の広い海岸線に、まだまだ点在する、素晴らしい漁場の数々。今回の経験やノウハウを、県全体の漁業の盛り上げにつなげたい。そんな大きな志を胸に、彼らの挑戦は今日も続いています。

MIYAZAKI

鬼の洗濯板

特別天然記念物
青島

「農林水産業みらい基金」は、
農林水産業の未来をつくる
全国の活動を応援しています。

